

薬物動態談話会 会計 内規

I. この規則は、薬物動態談話会の年会費、セミナー、例会および年会の参加費、講演謝礼、座長謝礼、交通費、セミナーの要旨集への広告掲載について定めたものである。

II. 年会費

- ①会員会社 1社あたり10万円とする。
 - ②途中入会の場合は、年度の残期間に応じ四半期ごとに2万5000円とする。
 - ③途中退会の場合は、年度の残期間によらず年会費は返却しない。
 - ④会員会社2社が期の途中で合併することが年会費請求の時点で明らかな場合は、合併前の両社会費は月割りで計算し、合併後の継承会社の会費（1社分）は残期間の月割りで計算することとする。
- ただし、企業規模、入会時期を考慮して幹事会で承認を得た上でその額を5万円に減額することができる。また、年会費は幹事会の決議により変更することができる。

III. 参加費

(例会・新年会)

- ①通常の例会への参加費は無料とする。
- ②1月例会時の新年会参加費は参加者1名あたり1万円とする。
ただし、会長、名誉会長、常任幹事、特別会員、功労会員、若手特別会員よりは徴収しない。
なお、特別講演の（演者）および予め特別会員あるいは幹事から推薦を受けた官、学に所属する研究者が参加する場合には、参加費を無料とする。
- ③例会のうち演習セミナーの参加費は参加者1名あたり6000円とする。ただし、オブザーバーとして参加する幹事は無料とする。

(年会)

- ④年会は参加者1名あたり3万5000円とする。但し、経費に応じて変更することがある。

内訳は右記の配分とする。

宿泊費： 10000円 (1泊分)

参加費： 2万5000円

12000円 (初日のみ参加)

13000円 (2日目のみ参加)

会長、名誉会長、常任幹事、特別会員、功労会員、若手特別会員および予め幹事会で承認を得た特別会員、功労会員以外の大学教授、准教授などの参加費（宿泊費を含む）は談話会負担とする。

なお、常任幹事および功労会員で、会社負担による参加が可能な方は会社負担とする。

- ⑤年会における講演者の参加費（宿泊費を含む）は談話会負担とする。
- ⑥企業所属の座長・司会者には「原則参加費会社負担」で依頼するが、組織委員会メンバー等の特段の事情を有する場合については、会長の判断により談話会負担も可能とする。
- ⑦年会における主幹事（4名(4社)）、副幹事（4名(4社)）および企画幹事の補助者（1名）の参加費（宿泊費を含む）は談話会負担とする。

(セミナー)

- ⑧セミナーは参加者1名あたり4万2000円とする。ただし、経費に応じて変更することがある。会長、名誉会長、常任幹事および若手特別会員が参加された場合の参加費（宿泊費を含む）は談話会負担とする。

内訳は右記の配分とする。

宿泊費： 1万6000円 (2泊分)

参加費： 2万6000円

ウェルカムパーティーおよび意見交換会等は参加費に含まれるものとする。

- ⑨セミナーにおける講演者の参加費（宿泊費を含む）は談話会負担とする。

⑩企業所属の座長・司会者には「原則参加費会社負担」で依頼するが、組織委員会メンバー等の特段の事情を有する場合については、会長の判断により談話会負担も可能とする。

⑪セミナーにおけるセミナー幹事とその補助者、セミナー副幹事とその補助者、企画幹事、庶務幹事（合計6名）の参加費（宿泊費を含む）は談話会負担とする。

⑫セミナーにおける協力会社の参加費（宿泊費を含む）は談話会負担とし、サポート会社（幹事の辞退等のペナルティーによる）の参加費（宿泊費を含む）は自己負担とする。

⑬幹事会で承認を得た上で官、学に所属する非特別会員をRTD補助者としてセミナーに招聘する場合、参加費（宿泊費を含む）は談話会負担とする。

RTD：ラウンドテーブルディスカッション

⑭功労会員あるいは特別会員には原則として案内は行わず、幹事会であらかじめ承認された場合に限って招待し、参加費（宿泊費を含む）は談話会負担とする。招待されていない功労会員あるいは特別会員から参加の申し出を受けた場合は、参加費は談話会負担とするが、宿泊費は自己負担とする。この場合、交通費も自己負担とする。

（演習セミナー）

⑮演習セミナーは参加者1名あたり6,000円とする。ただし、経費に応じて変更することがある。

⑯会長、名誉会長、常任幹事、担当幹事および若手特別会員が参加された場合の参加費は無料とする。

⑰演習セミナーにおける講演者・チューターの参加費は談話会負担とする。

（督促）

⑱HPを利用しての参加者の受付けは庶務幹事*が行ない、会計幹事*は参加費が期限までに納付されない場合、該当者に対して電子メールで督促を行う。なお、メール送信は個人情報保護の保護に留意して参加者本人宛とし、ccは庶務幹事のみとする。

*：例会（演習セミナー）と年会は庶務幹事と会計幹事が担当し、セミナーの場合はセミナー幹事が担当する。

以下に新年会、年会およびセミナーにおける幹事及び運営関係者の参加費について示す。

	新年会 (10,000円)	年会 (35,000円、 宿泊費込)	セミナー (42,000円、 宿泊費込)
名誉会長・会長・ 若手特別会員	談話会負担	談話会負担	談話会負担
特別会員・功労会員	談話会負担	談話会負担	—
常任幹事	談話会負担	談話会負担	談話会負担
主幹事 (4社)・補助者	自己負担	主幹事と企画幹事補助 者は談話会負担 (4社5名)	セミナー幹事と補助者 企画幹事、庶務幹事は 談話会負担 (3社4名)
副幹事 (4社)・補助者	自己負担	副幹事は談話会負担 (4社4名)	セミナー副幹事と補助 者は談話会負担 (1社2名)
サポート会社	—	自己負担	自己負担
協力会社	—	—	談話会負担

IV. 講演謝礼

以下の表のように定める。ただし、演者の所属する機関において、別途、講演謝礼の辞退あるいは謝礼額等の規定がある場合はその機関の規定を考慮する。なお、オンライン開催の場合も講演謝礼は同額とし、原則として口座振込により支払う。振込手数料は談話会負担とする。

	例会	年会	セミナー	演習セミナー
特別講演 (特別講師)	6 万円	6 万円	6 万円	6 万円
会長・名誉会長 講演		3 万円	3 万円	
会長・名誉会長 Speech		2 万円		
一般講演 (教育講演も含む)	3 万円	3 万円	3 万円	
チューター	2 万円		2 万円	2 万円
座長・司会	1 万円	1 万円	1 万円	

- ★1 企業所属者はすべて謝礼なし
- ★2 講演者が、チューター、座長・司会の複数を務めた場合の謝礼は講演謝礼に含まれるとし、チューターが、座長・司会を務めた場合の謝礼はチューター謝礼に含まれるとする
- ★3 講演補助が必要な場合は、一律 1.5 万円とする

V. 座長・司会謝礼（年会・セミナー）

企業に所属しない座長または司会（ラウンドテーブルおよび総合討論）謝礼は一律 1 万円とする。ただし、講演と座長・司会の両方を務めた場合の謝礼は講演費用に含まれるとする。

VI. 交通費（例会・年会・セミナー・演習セミナー）

支払い対象者

- ①企業に所属しない講演者、チューターおよび RTD 補助者
- ②企業に所属しない座長・司会
- ③会長／名誉会長
- ④特別会員、功労会員（年会時）、若手特別会員（年会時、セミナー時）
- ⑤海外より招聘した講演者、参加者については、その都度、支払い額も含めて幹事会で決定する。（原則として、国内での交通費を支払う。）

※企業所属の常任幹事及び講演者には「原則交通費会社負担」で依頼するが、特段の事情を有する常任幹事及び講演者については会長の判断により談話会負担も可能とする。

※オンライン開催により交通費が発生しない場合は、交通費を支給しない。

支払い額

- ①実費を原則とするが、交通費が3,000円以下の場合是一律3,000円とする。
なお、支給額は切り上げにより1,000円単位とする。
- ②近距離(100km以内)の移動に自家用車を使用する場合は駐車料金を含めて一律3,000円とするが、駐車料金を談話会が立替精算した場合、3,000円から駐車料金を減じた額を支給する。
- ③タクシー利用費は特別な場合を除き支払わない。
- ④企業に所属しない65歳以上の講演者および会長／名誉会長にはグリーン料金(200km以上の場合に限る)を加算する。ただし、座長・司会のみ依頼者にはグリーン料金は加算しない。
- ⑤健康上の理由等、特段の事情を有する講演者については会長の判断によりタクシー利用費とグリーン料金を加算することができる
- ⑥講演者およびチューターが例会に参加する場合、または特別講師およびチューターが演習セミナーに参加する場合、幹事会であらかじめ承認された場合に限って宿泊費を実費で支給する。但し、上限額は15,000円とする。

(細則): 2019年10月時点の金額で算出(一律通常期として支払う)

①東京での例会

例) 東京～仙台(往復)

新幹線(はやぶさ利用): 23,000円(11,410円 x 2)

*グリーン車の場合: 31,000円((15,070円 x 2)

遠距離(札幌、岩手、広島福岡、熊本等)の対象者には、往復の飛行機利用料金を支払う。

②大阪での例会

例) 東京～大阪(往復)

新幹線(のぞみ利用): 30,000円(14,720円 x 2)

*グリーン車の場合: 40,000円(19,590円 x 2)

遠距離(札幌、岩手、仙台、福岡、熊本等)の対象者には、往復の飛行機利用料金を支払う。また会長／名誉会長が飛行機利用の対象となる場合は、宿泊費15,000円(定額)を加算する。

例) 仙台～大阪(往復); 会長／名誉会長の場合

飛行機+宿泊: 72,000円(28,300円 x 2 + 15,000円)

③浜松での年会

例) 東京～浜松(往復)

新幹線: 17,000円(8,240円 x 2)

例) 大阪～浜松(往復)

新幹線: 17,800円(8,900円 x 2)

遠距離(札幌、岩手、仙台、福岡、熊本等)の対象者には、往復の飛行機利用料金を支払う。名古屋(中部国際)空港発着便利用を原則とし、名古屋～浜松間の新幹線料金、10,000円(4,840円 x 2)を加算する。

例) 仙台～浜松(往復)

飛行機+新幹線: 85,000円(37,270円 x 2 + 10,000円)

VII. 要旨集への広告掲載

セミナーにおける要旨集への広告掲載を希望する企業について、協力会社より案内状を送付する。1ページあたりの広告料金は以下の通りとする。

裏表紙（表 2）、背表紙裏（表 3）、背表紙（表 4）	50,000 円
その他	30,000 円

VIII. 薬物動態談話会専用の会計口座開設

各年度の会計幹事が法人口座（口座名：薬物動態談話会 会計幹事 ○○○○（会計幹事個人名））を開設して管理運用する。銀行側が「薬物動態談話会」等の口座名が妥当と判断し口座開設された場合も当該口座を使用できるものとする。なお、開設口座は決済専用無利息型とする。

IX. 講演謝礼・交通費等の経費の振込みとインターネットバンキングの利用

- ① 講演謝礼・交通費等の薬物動態談話会の運営経費は、開催形式や内容を問わず、銀行振込みを利用可とし、会計幹事が管理している法人口座からのインターネットバンキングを利用してもよい。その際、証憑として「振込結果票」を印刷・保管する。
- ② インターネットバンキングの利用料は、会計経費の一部として予算に計上する。経費は年度ごとの実績により審議決定する。
- ③ 講演者への講演謝礼・交通費の振込みに際しては、事前に、源泉徴収しないことを明記した「支払い明細書（控）」（別添 I）を発行し、その PDF を講演者にメール送信し、内容の確認を求める。
- ④ 薬物動態談話会の運営上、上記証憑（振込結果票）は領収書として代替可とする。なお、講演者（支払先）の意向により、源泉徴収票の発行が求められた場合、以下のように対応する。
- ⑤ 談話会では源泉徴収しないことを改めてメールで通知し、併せて支払い明細書（控）での対応を依頼する。
- ⑥ それでも何らかの証明が必要となった場合、支払い明細書（「控」を消し談話会印の押印）を発行し、その PDF をメール送付する。

X. 年会費、参加費等の談話会への支払いに関する消費税についての対応

談話会は 2023 年 10 月 1 日より施行されたインボイス制度には非対応であり、支払金額には消費税は含まれていないことを通知する。

XI. 以上の規則に適合しない状況が発生した場合には、別途、幹事会で定める。

XII. 薬物動態談話会会計資料の保存期間は 5 年とする。

XII. 付則

- ① この規則は H14 年 4 月 1 日より実施し、改訂は幹事会の承認により行なわれる。
- ② この規則は H14 年 7 月 5 日付けでⅠ項を追加し、Ⅱ項（年会費）とⅥ項（交通費）の一部を改訂。
- ③ この規則は H15 年 4 月 25 日付けでⅢ項③（特別例会参加費）の一部を改訂。
- ④ この規則は H15 年 10 月 3 日付けでⅢ項（参加費）③の一部を改訂並びに④及び⑤を追加、Ⅳ項（講演謝礼）の一部を改訂、Ⅴ項（座長謝礼）の一部を改訂、Ⅵ項（交通費）の一部を改訂。
- ⑤ この規則は H16 年 1 月 30 日付けでⅨ項を追加。
- ⑥ この規則は H16 年 11 月 26 日付けでⅡ項（年会費）の一部を改訂。
- ⑦ この規則は H18 年 1 月 27 日付けで、Ⅲ項（参加費）②の一部を追加、Ⅵ項（交通費）の一部を改訂および削除。
- ⑧ この規則は H19 年 7 月 11 日付けで、Ⅱ項（年会費）④を追加、Ⅵ項（交通費）の一部を改訂。
- ⑨ この規則は H20 年 2 月 1 日付けで、Ⅲ項（参加費）、Ⅳ項（講演謝礼）、Ⅵ項（交通費）の一部を改訂。
- ⑩ この規則は H20 年 7 月 1 日付けで、Ⅵ項（交通費）の一部を改訂。
- ⑪ この規則は H25 年 8 月 1 日付けで、Ⅳ項（講演謝礼）の一部を改訂。
- ⑫ この規則は H25 年 10 月 21 日付けで、Ⅲ項（参加費）、Ⅵ項（交通費）の一部を改訂。
- ⑬ この規則は H26 年 6 月 12 日付けで、Ⅲ項（参加費）の一部を改訂。
- ⑭ この規則は H26 年 11 月 14 日付けで、Ⅳ項（講演謝礼）の一部を改訂。
- ⑮ この規則は H27 年 1 月 30 日付けで、Ⅰ項の一部を追加、Ⅲ項（参加費）の一部を改訂、Ⅳ項（講演謝礼）の一部を追加、Ⅴ項（座長謝礼）の一部を改訂、Ⅵ項（交通費）の一部を追加、Ⅷ項の一部を削除、Ⅷ項を（要旨集への広告掲載）とし以下繰り下げ。
- ⑯ この規則は H27 年 6 月 18 日付けで、Ⅲ項（参加費）、Ⅳ項（講演謝礼）及びⅥ項（交通費）の一部を改訂。
- ⑰ この規則は H28 年 6 月 24 日付けで、Ⅲ項（参加費）の一部及びⅪ項（付則）の書式を改訂。
- ⑱ この規則は H29 年 4 月 25 日付けで、Ⅸ項（薬物動態談話会専用の会計口座開設）を追加。
- ⑲ この規則は H29 年 9 月 29 日付けで、Ⅲ項（参加費）に一部追加、Ⅳ項（講演謝礼）のセミナーに一部追加、Ⅵ項（交通費）に一部追加、Ⅶ項（特別会員の推薦による非会員の例会参加）を削除。
- ⑳ この規則は H30 年 9 月 21 日付けで、Ⅲ項（参加費）⑧⑪⑫の一部を改訂、⑭を追加し以下繰り下げ及びⅥ項（交通費）支払い額④の一部を改訂、⑥を追加。
- ㉑ この規則は 2019 年 7 月 17 日付けで、Ⅲ項（参加費）④の一部を改訂。
- ㉒ この規則は 2020 年 2 月 13 日付けで、Ⅳ項（講演謝礼）、Ⅵ項（交通費（例会・年会・セミナー・演習セミナー））の支給額（細則）の一部を改訂。
- ㉓ この規則は 2020 年 7 月 17 日付けで、Ⅳ項（講演謝礼）およびⅥ項（交通費（例会・年会・セミナー・演習セミナー））に一部追記、Ⅷ項（薬物動態談話会専用の会計口座開設）の一部を改訂。
- ㉔ この規則は 2020 年 10 月 8 日付けで、Ⅴ項（座長・司会謝礼（年会・セミナー））の一部を改訂、企業に所属しない座長または司会を対象とする。
- ㉕ この規則は 2021 年 4 月 28 日付けで、Ⅷ項（薬物動態談話会専用の会計口座開設）の一部を改訂、Ⅸ～Ⅺ項をⅩ～Ⅻに繰り下げ、Ⅸ項（講演謝礼・交通費等の経費の振込みとインターネットバンキングの利用）を追加し改訂。
- ㉖ この規則は 2022 年 6 月 17 日付けで、Ⅷ項（薬物動態談話会専用の会計口座開設）の一部を改訂。
- ㉗ この規則は 2023 年 7 月 9 日付けで、Ⅲ項（例会・年会・セミナー・演習セミナー）（支払額）④の宿泊費、参加費の金額を改定。参加費額の改定に合わせて幹事及び運営関係者の参

加費一覧表の年会の金額を改定。

- ⑳ この規則は 2023 年 11 月 17 日付けで、Ⅵ項（例会・年会・セミナー・演習セミナー）の（支払い額）①のお車代の但し書きを削除。
- ㉑ この規則は 2024 年 1 月 26 日付けで、Ⅹ項（年会費、参加費等の談話会への支払いに関する消費税についての対応）を追加し、Ⅹ～Ⅺ項をⅪ～Ⅻ項に繰り下げて改訂。
- ㉒ この規則は 2024 年 7 月 31 日付けで、Ⅵ項（交通費（例会・年会・セミナー・演習セミナー））の（支払い額）①および②の近距離の定義を明確化し、⑥の宿泊費の支給対象者を追加し改定。
- ㉓ この規則は 2025 年 1 月 1 日付けで、Ⅳ．講演謝礼の内容を例会・年会・セミナー・演習セミナーにおいて整理・統一化し、Ⅴ．座長・司会謝礼（年会・セミナー）の謝礼の考え方を変更。これらの変更に伴いⅥ．交通費の支払い対象者②、支払い額④および⑥の表現を一部変更。Ⅲ．参加費⑧の宿泊費、参加費、参加費に含まれる内容の一部を改定。
- ㉔ この規則は 2025 年 5 月 23 日付けで、若手特別会員の新設に伴いⅢ．参加費の②新年会参加費の非徴収対象者、④年会参加費（宿泊費を含む）の談話会負担対象者、⑧セミナー参加費（宿泊費を含む）の談話会負担対象者、⑩演習セミナー参加費、およびⅥ．交通費の支払い対象者の一部を改定。同時に、Ⅲ．参加費の表およびⅥ．交通費の支払い対象者を整理し改定。

本明細書は会計と庶務が連携して発行し、会計幹事が講演者（支払い先）に送付する。

支払い明細書（控）

20XX/XX/XX

〇〇 〇〇 様

20XX年度〇月度例会 薬物動態談話会

下記の通り、ご講演終了後にお支払い、またはご指定口座へのお振込み※をいたします。

1. ご講演料

談話会は源泉徴収していないことを明記。

名目	支払い金額	源泉徴収	振込み金額
講演料	¥00,000	¥0	¥00,000
交通費	¥00,000	¥0	¥00,000
合計	¥00,000	¥0	¥00,000

2. 交通費、他

名目	支払い金額	源泉徴収	振込み金額
交通費	¥00,000	¥0	¥00,000
宿泊費	¥00,000	¥0	¥00,000
合計	¥00,000	¥0	¥00,000

住所は庶務幹事所属機関住所。氏名・連絡先は庶務幹事のものとす。問合せ先として使用。

薬物動態談話会

氏名：

住所：

e-mail：

※お振込みの場合、開催日より10日前後でご指定口座へお振込みいたします。

事前に企画幹事が確認しておく。